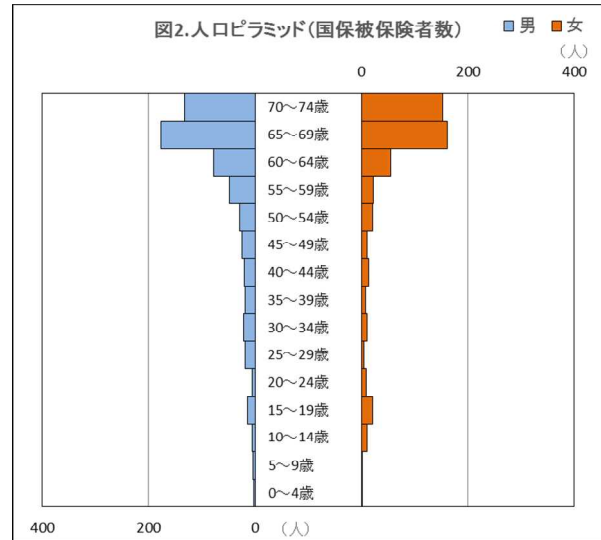
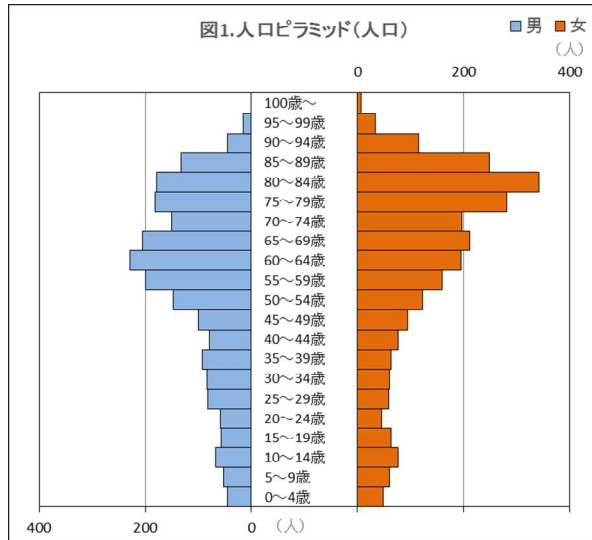


日南町

概要

人口総数	4,765 人
高齢化率	49.2 %
国保被保険者数	1,099 人
国保加入率	23.1 %
国保被保険者の平均年齢	58.9 歳

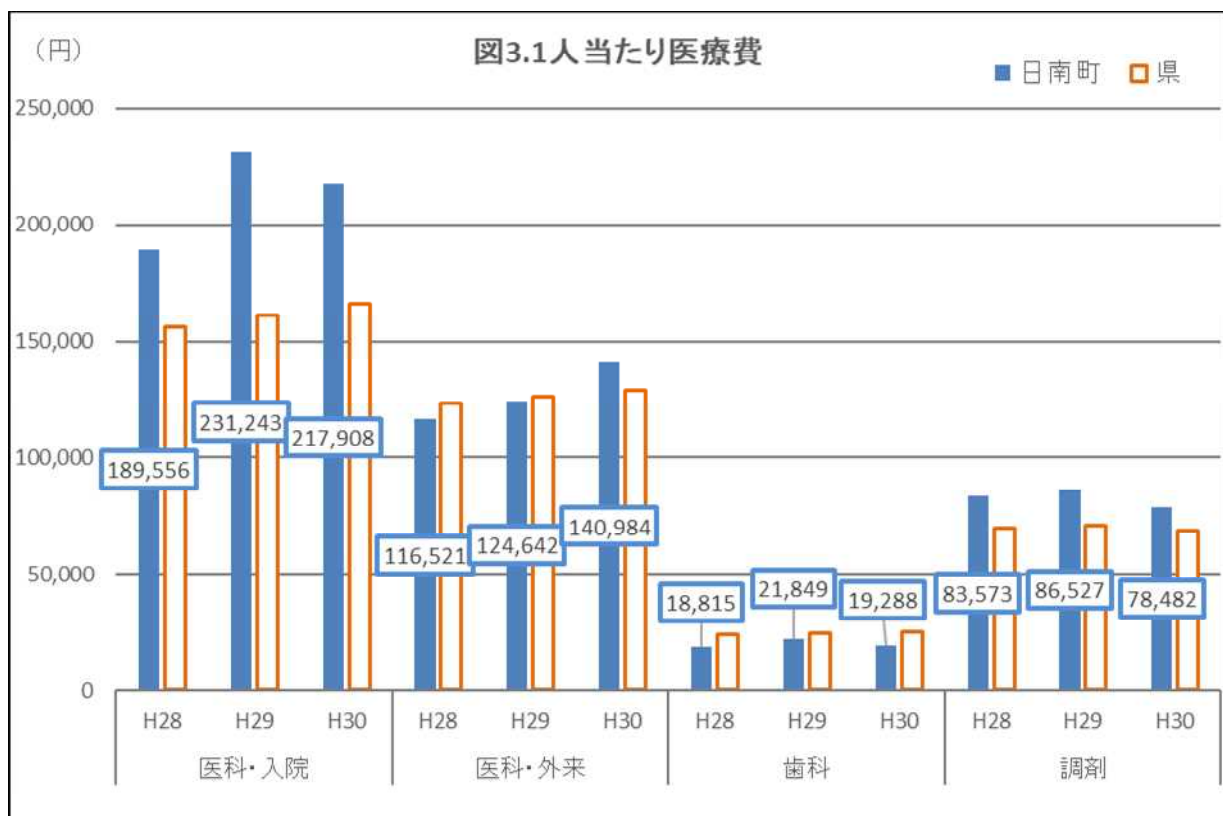
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

日南町

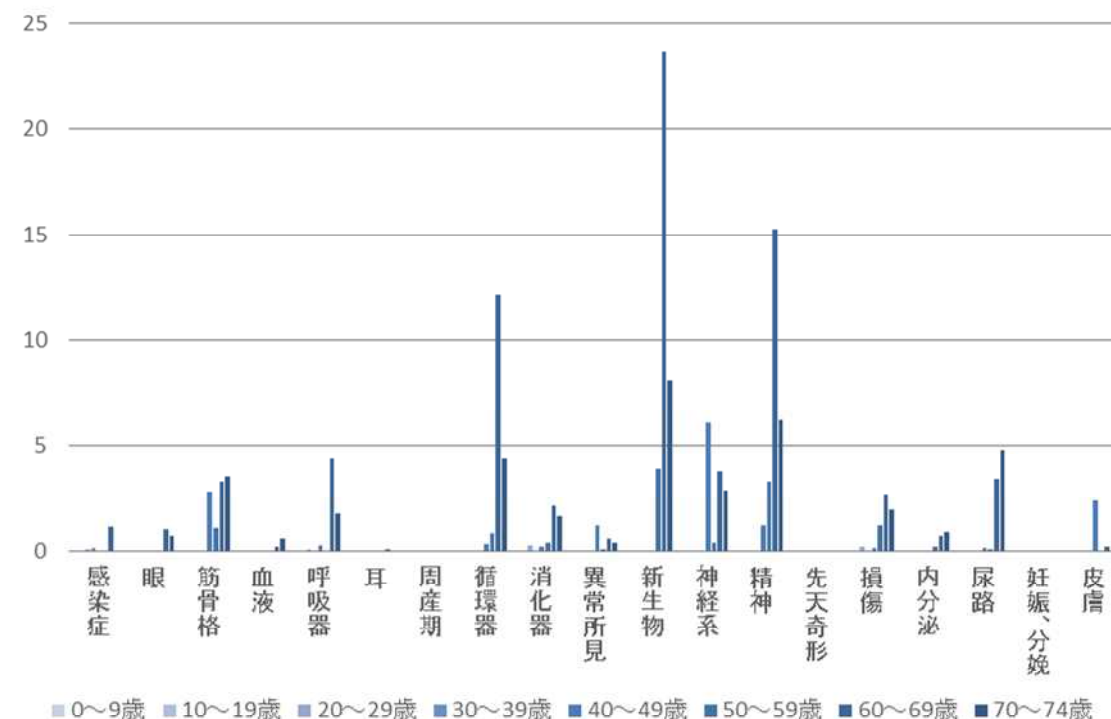
医療費の状況①



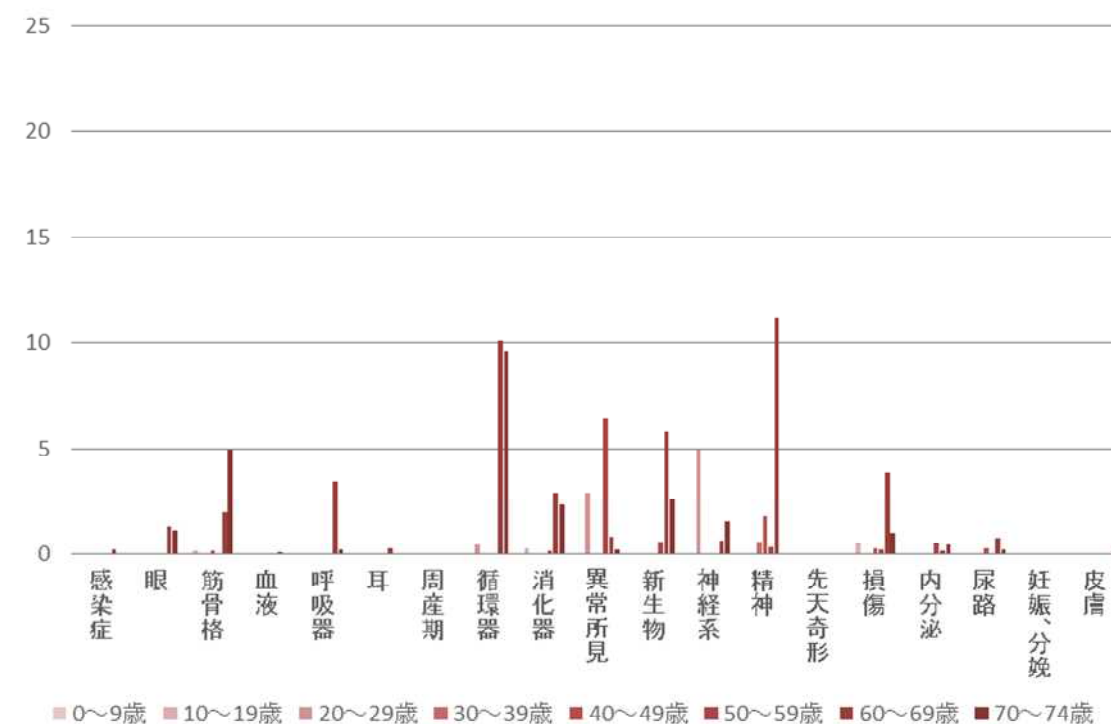
※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)

(百万円) 図4-1. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、男性)



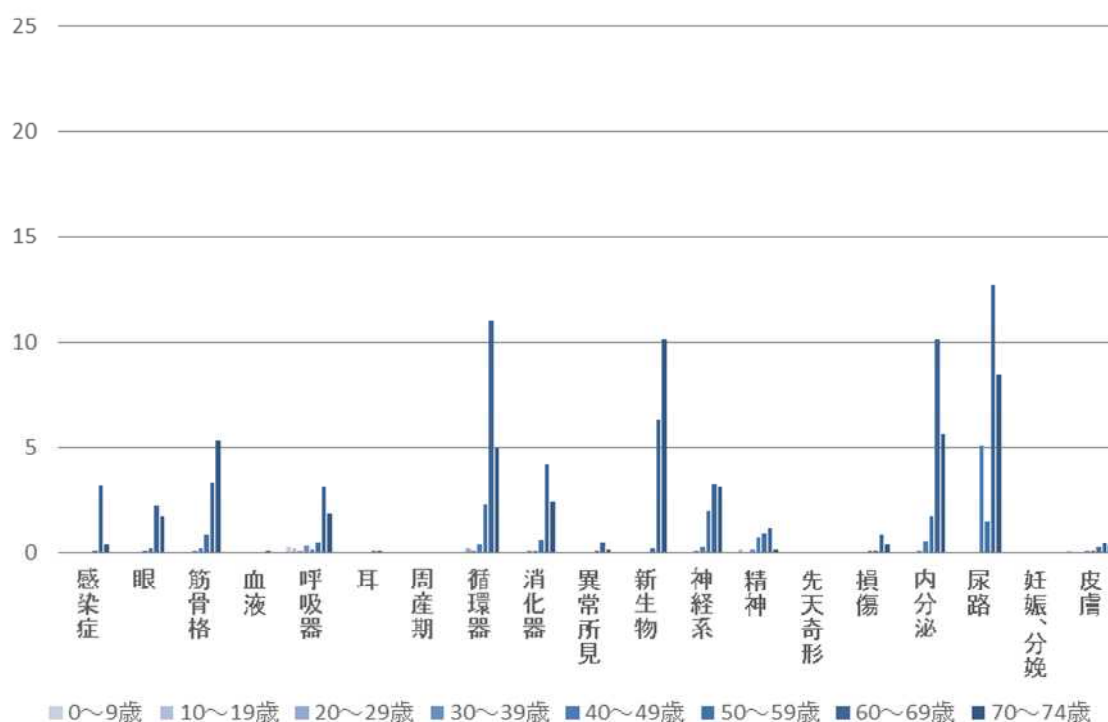
(百万円) 図4-2. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、女性)



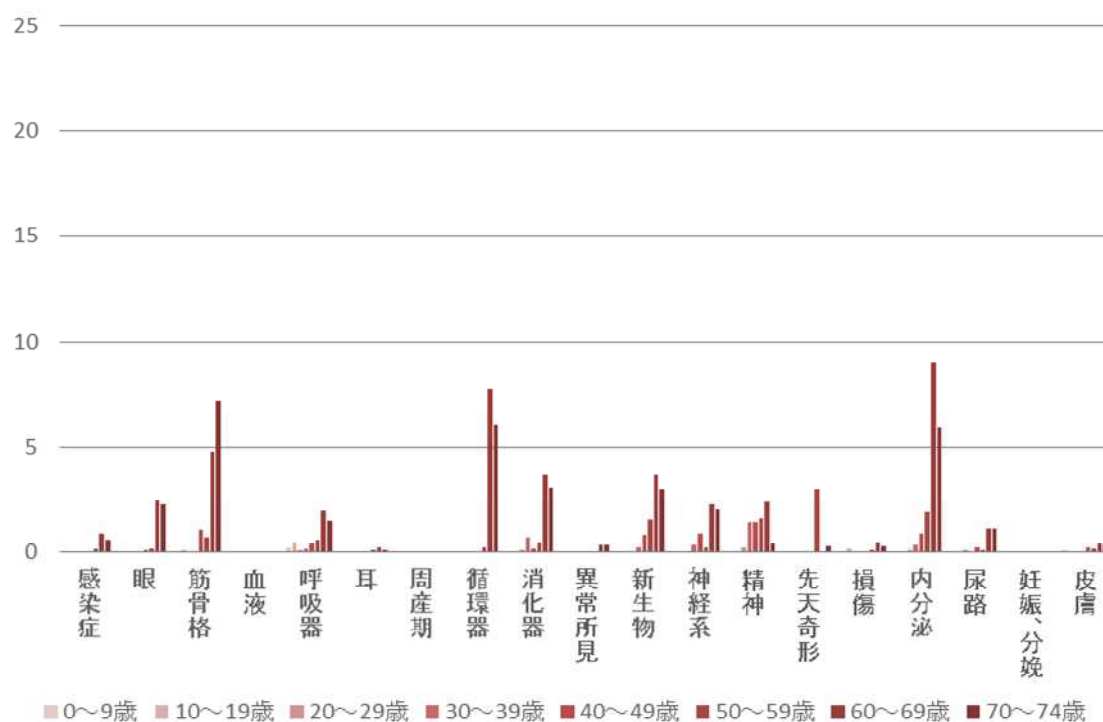
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)

(百万円) 図4-3. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

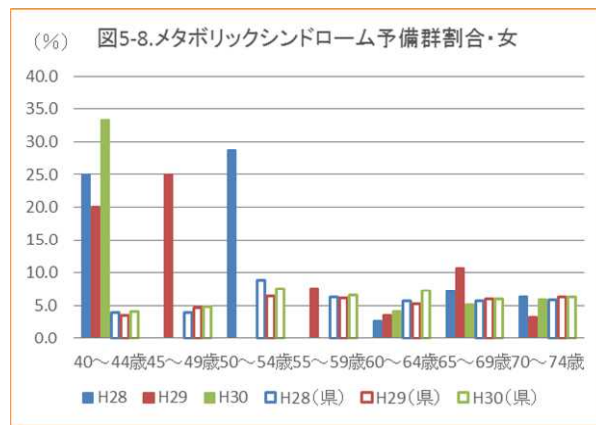
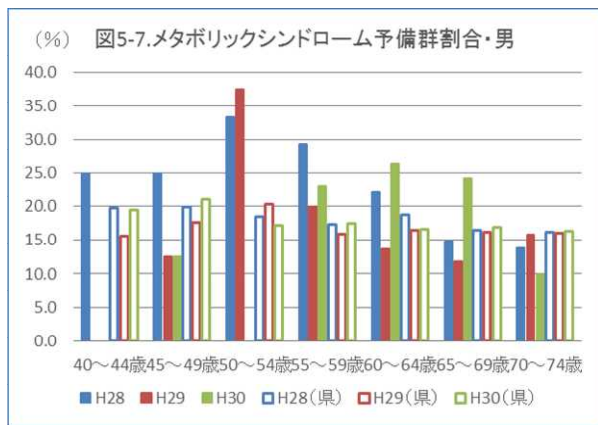
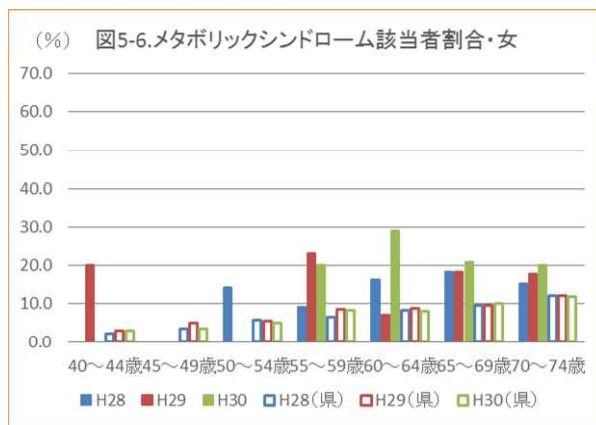
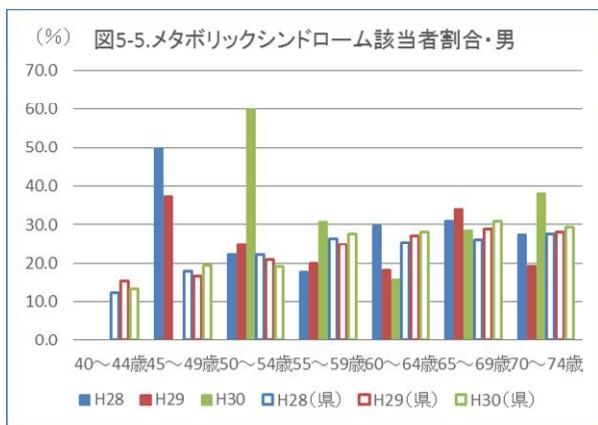
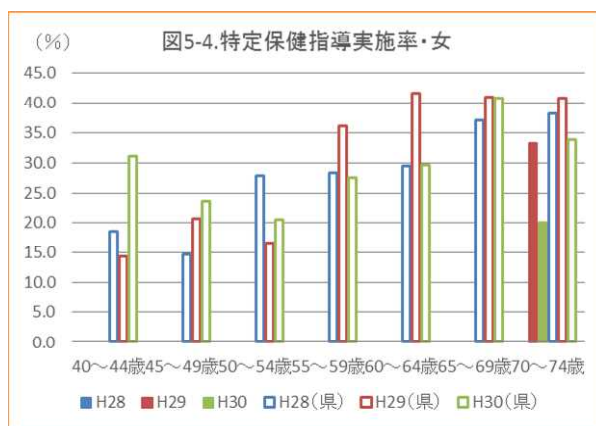
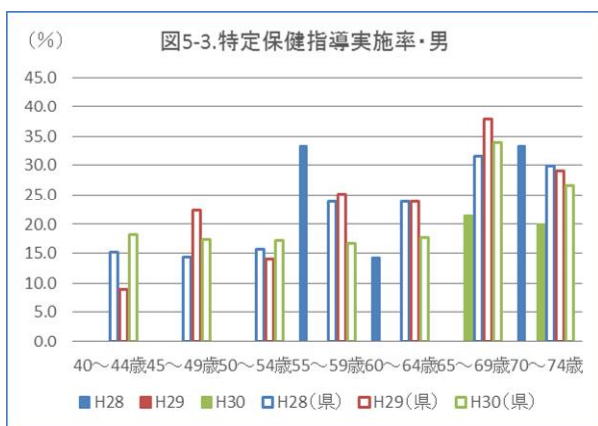
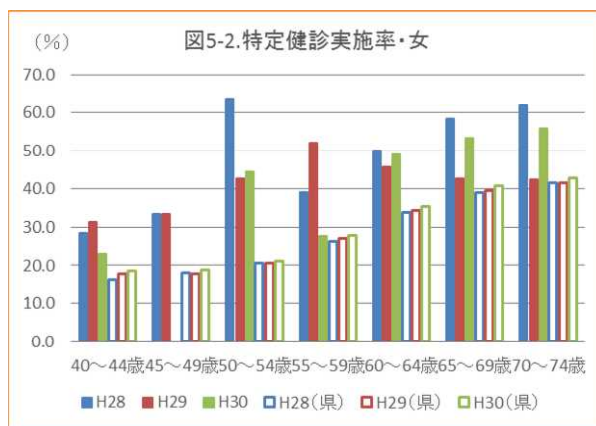
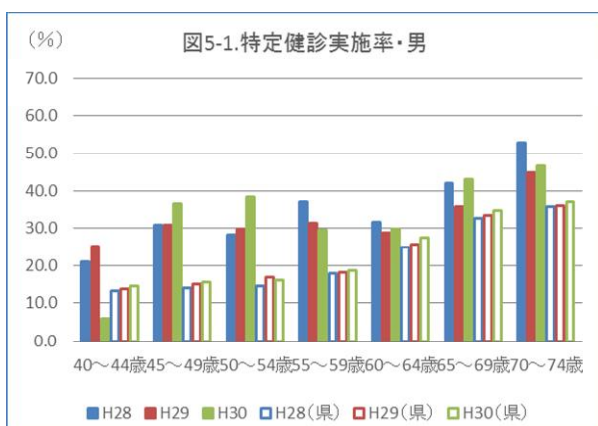


(百万円) 図4-4. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)



※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012 (平成28～30年度)

図6-1. 血圧・有所見者割合

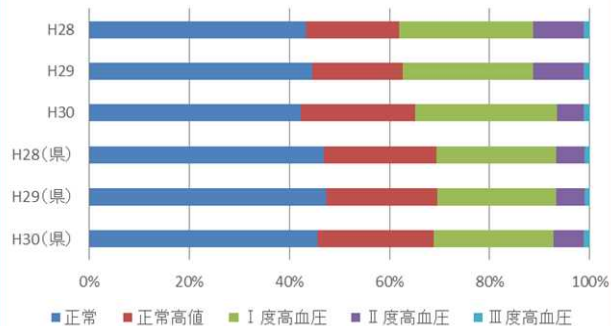


図6-2. 空腹時血糖・有所見者割合

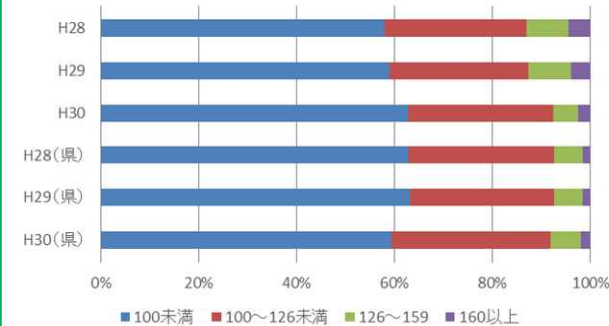


図6-3. HbA1c・有所見者割合

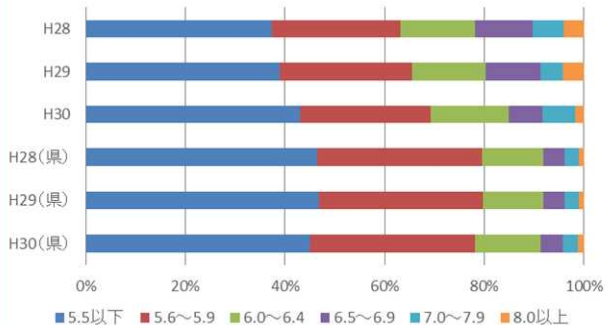


図6-4. 中性脂肪・有所見者割合

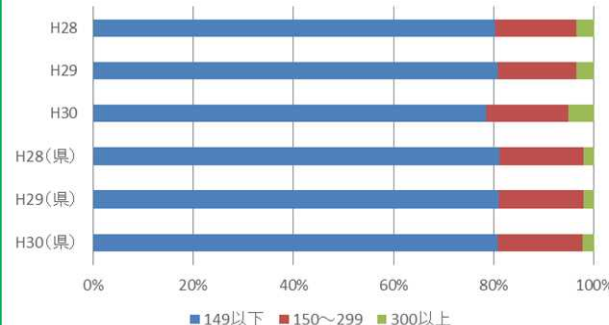


図6-5. HDL・有所見者割合

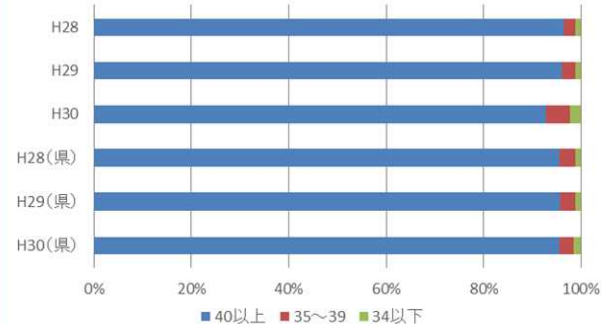
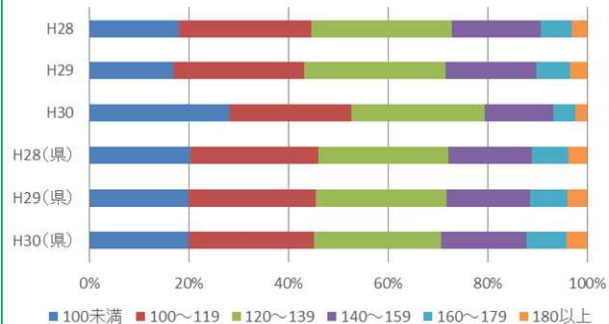


図6-6. LDL・有所見者割合



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003(平成28~30年度)

図7-1. 特定健診受診有無による医療費
(医科・入院)(1人当たり点数)

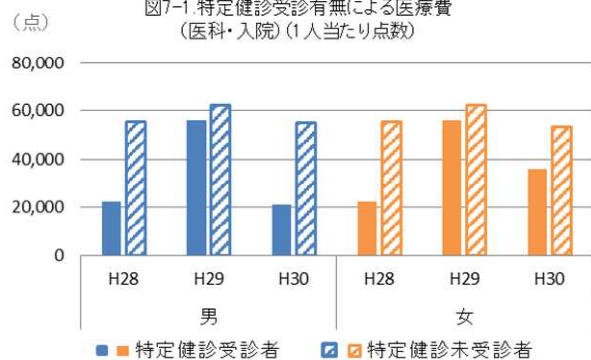
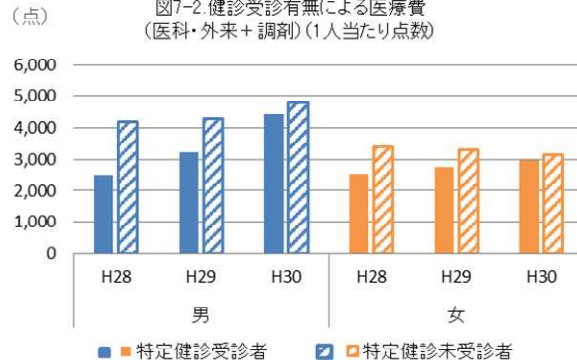
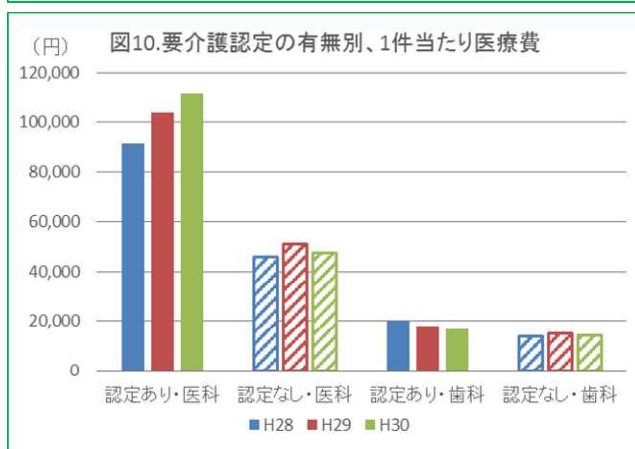
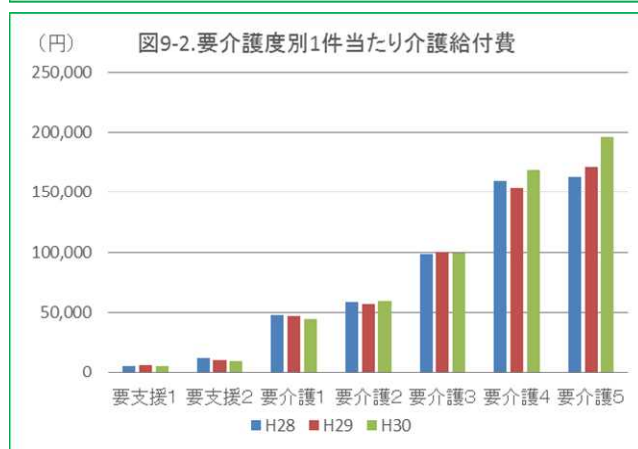
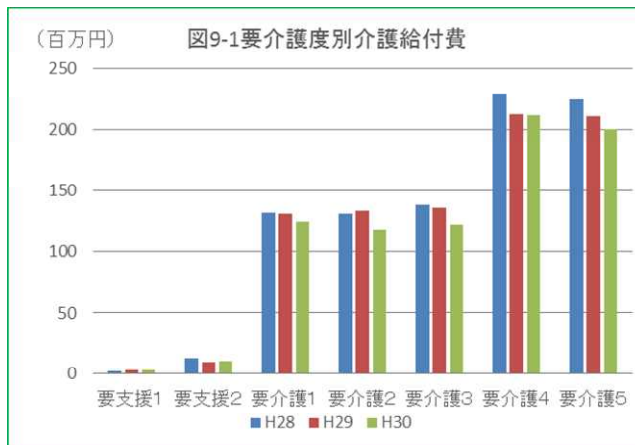
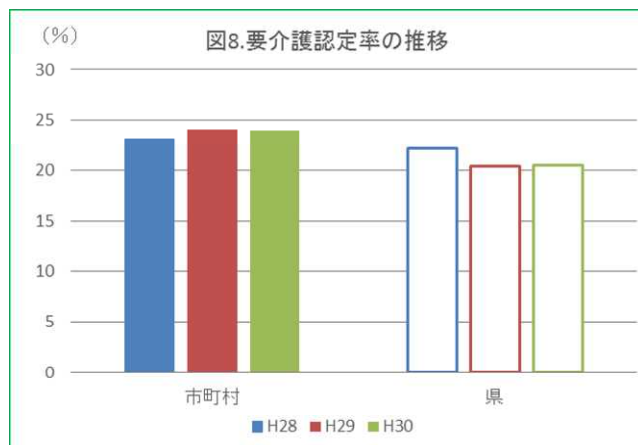


図7-2. 健診受診有無による医療費
(医科・外来+調剤)(1人当たり点数)



出典: KDBNo.46(医療費分析(健診有無別))(平成28~30年度)



出典：KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28～30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院、医科・外来、調剤とも県平均より高く、特に医科・入院が1.3倍高い。歯科は、県平均より約20%低い。
- 疾病分類別入院医療費は、男性の新生物と女性の循環器が最も高く、次いで男女とも精神が高く60歳代に急増している。
- 外来医療費は、男性の尿路と女性の内分泌が最も高い。

【特定健診の状況】

- 特定健診実施率は、男女ともほとんどの年代で県平均より高い。特定保健指導は65歳以上しか実施されておらず、実施率は男女ともに県平均より低い。
- メタボリックシンドロームの該当者割合では、50歳代の男性で県平均の約3倍高くH29年度に比べ急増している。女性では50歳以上の年代で県平均の約2倍高くなっている。
- 空腹時血糖、HbA1cの有所見者割合は、県平均と比べ正常値の割合はほぼ同率だが、H29年度より増加してきている。

【介護の状況】

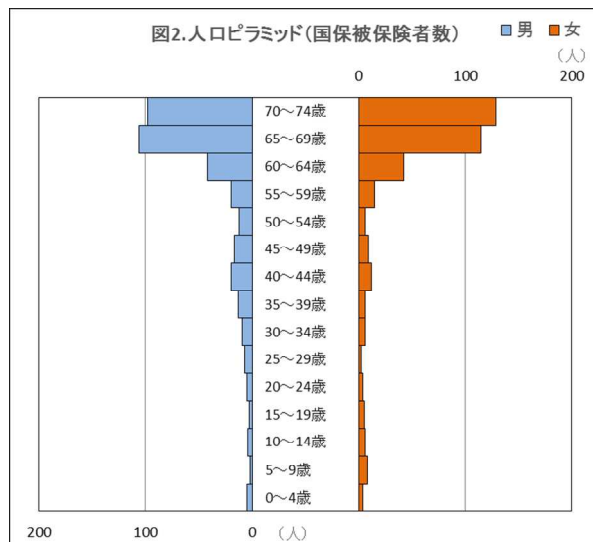
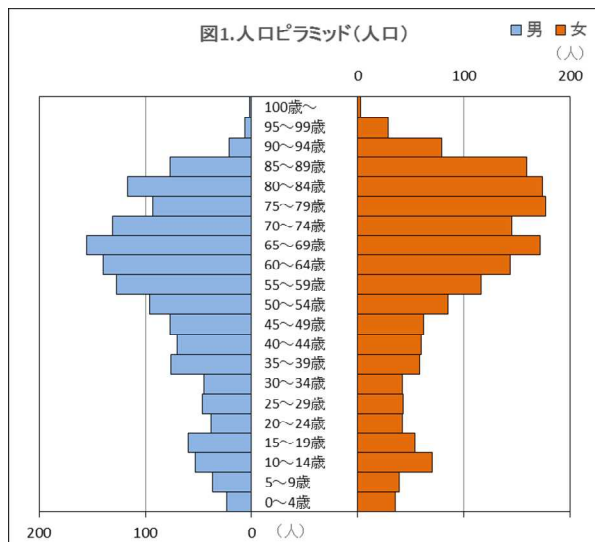
- 要介護認定率は、高齢化率(49.2%)とともに県内で最も高い。
- 要介護1～5の要介護給付費は減少してきているが、1件あたり介護給付費は要介護2～5で増加している。

日野町

概要

人口総数	3,278 人
高齢化率	47.0 %
国保被保険者数	732 人
国保加入率	22.3 %
国保被保険者の平均年齢	59.9 歳

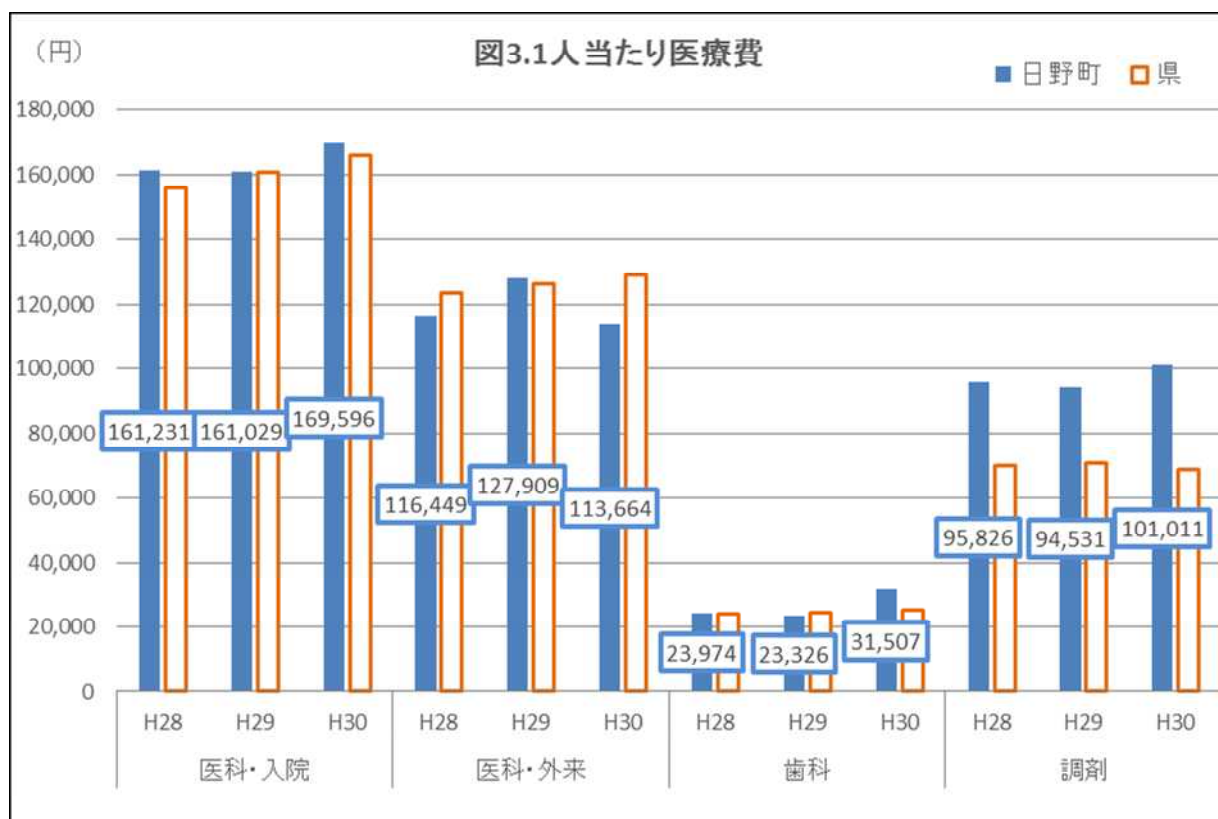
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

日野町

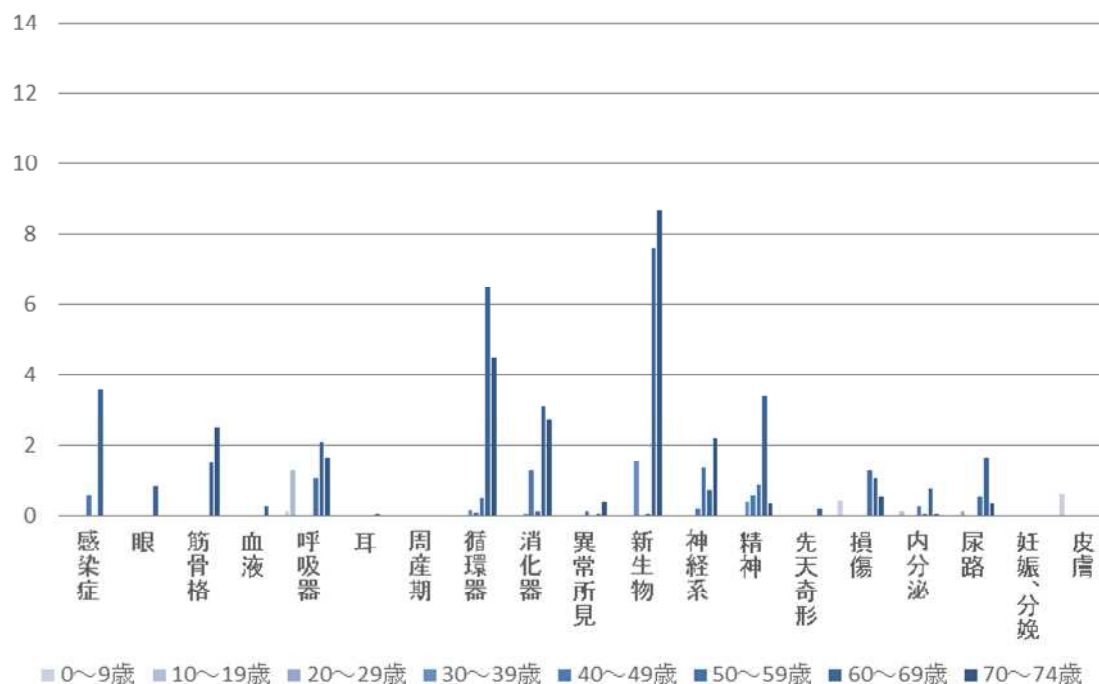
医療費の状況①



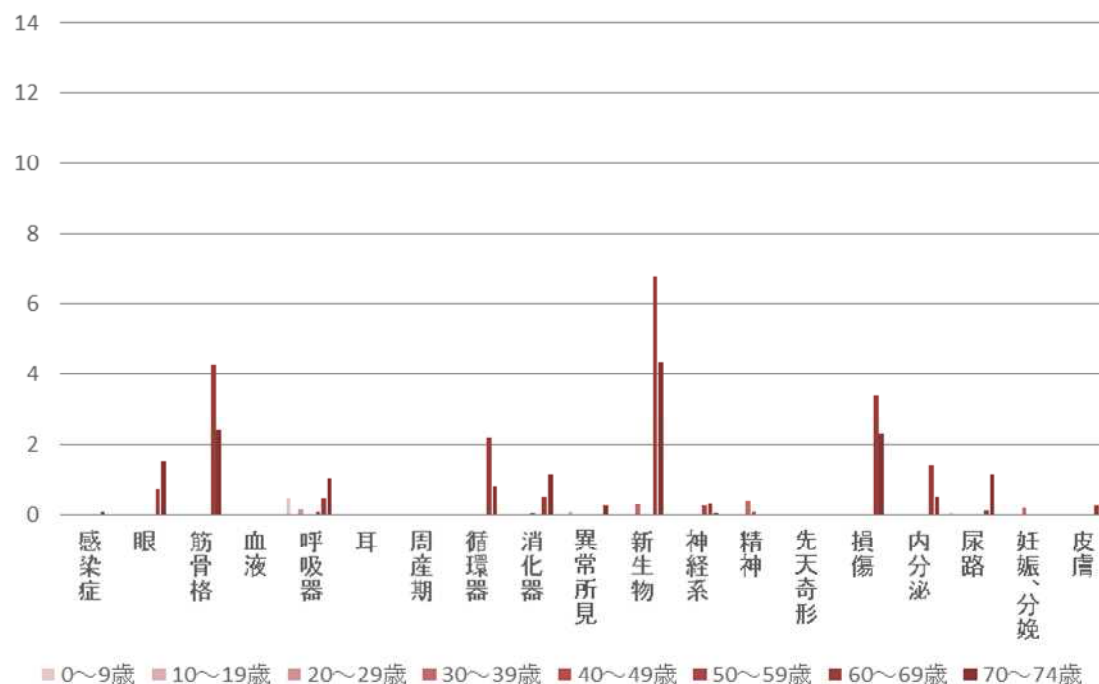
※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)

(百万円) 図4-1.疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、男性)



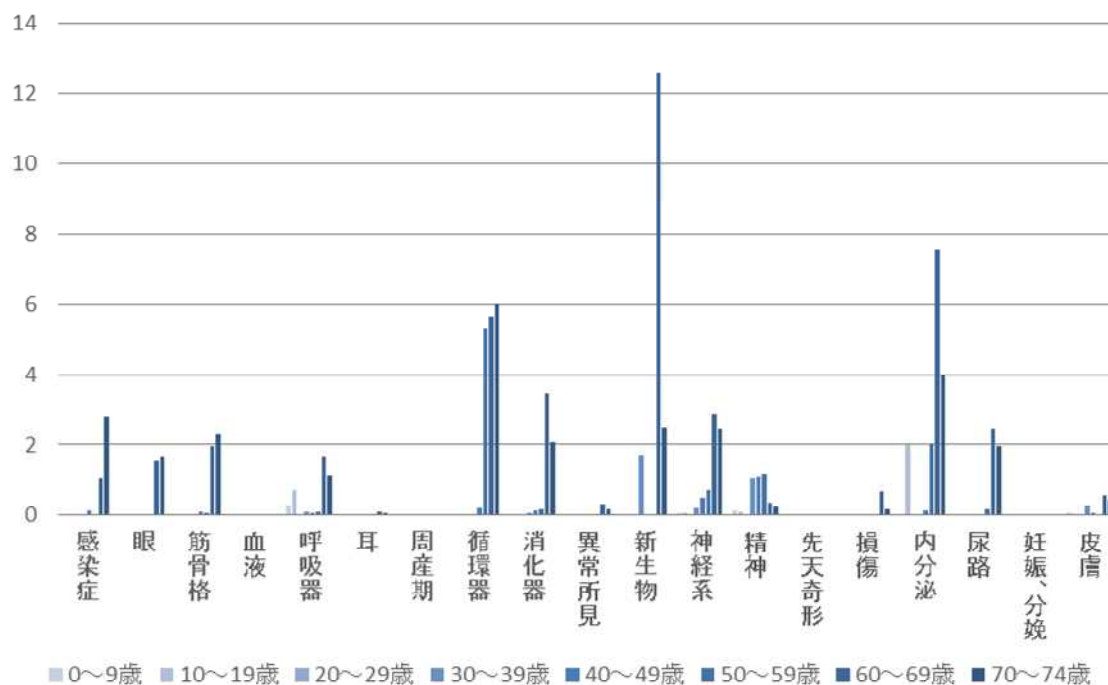
(百万円) 図4-2.疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、女性)



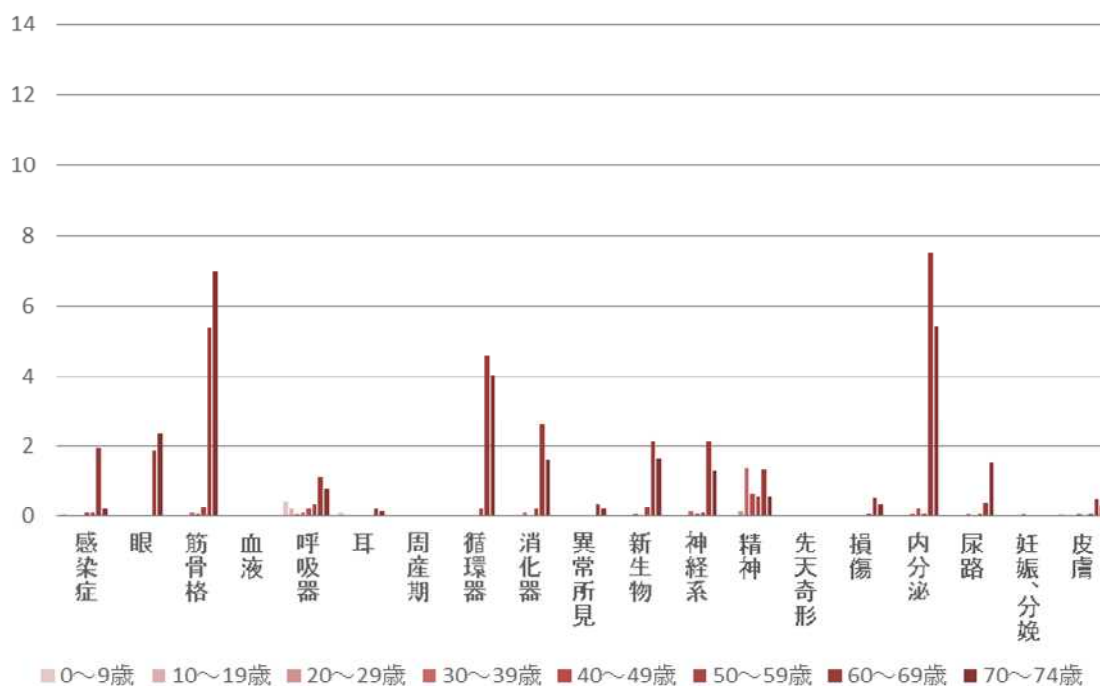
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典: KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)

(百万円) 図4-3.疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

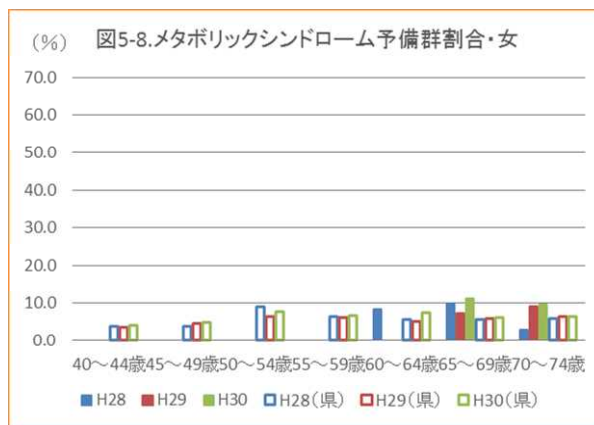
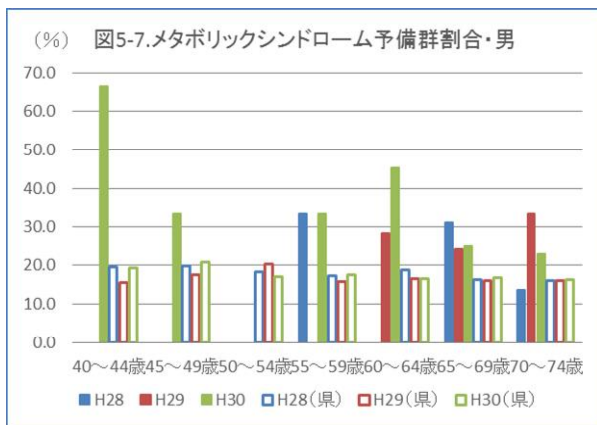
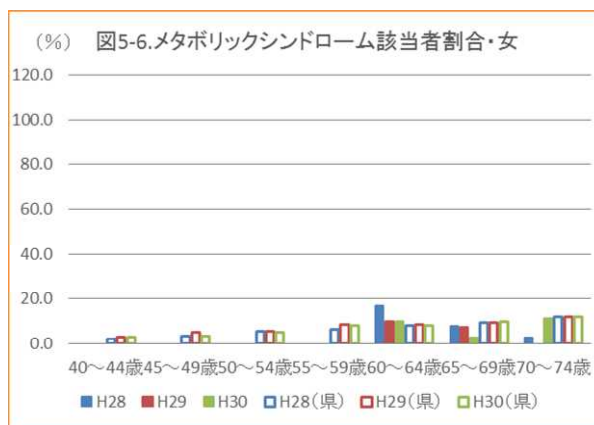
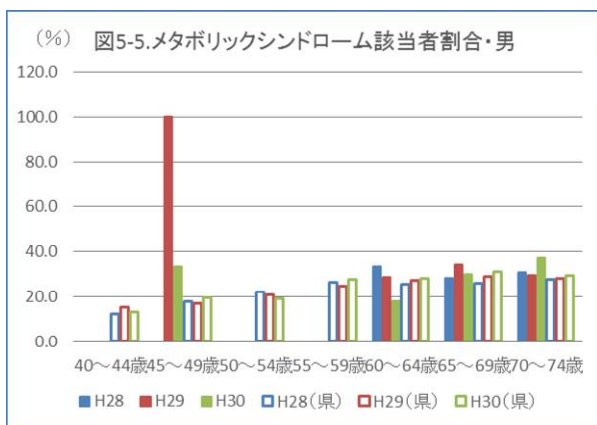
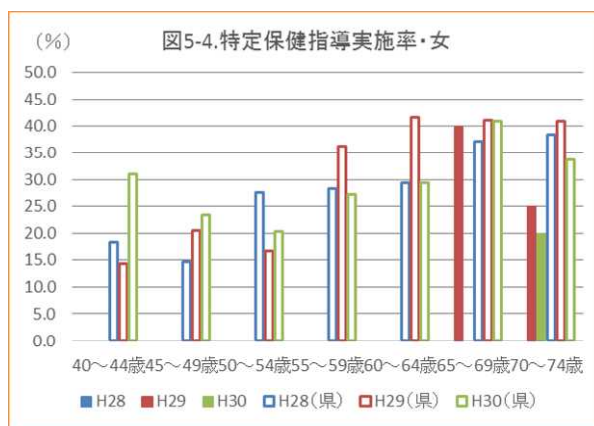
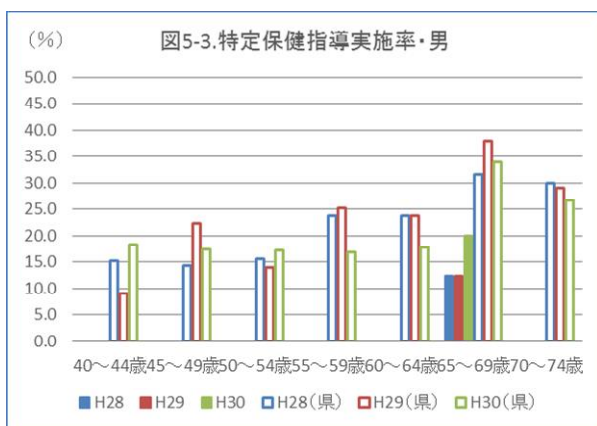
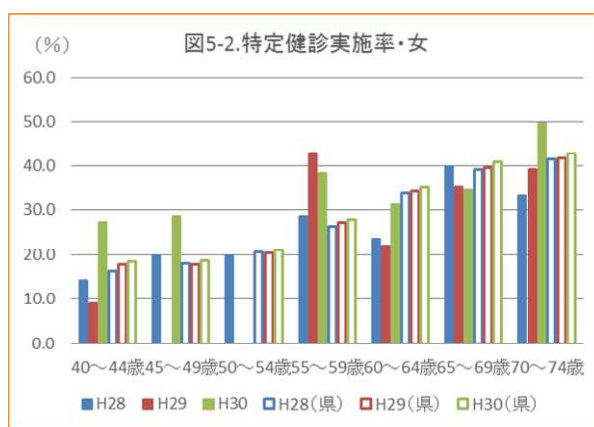
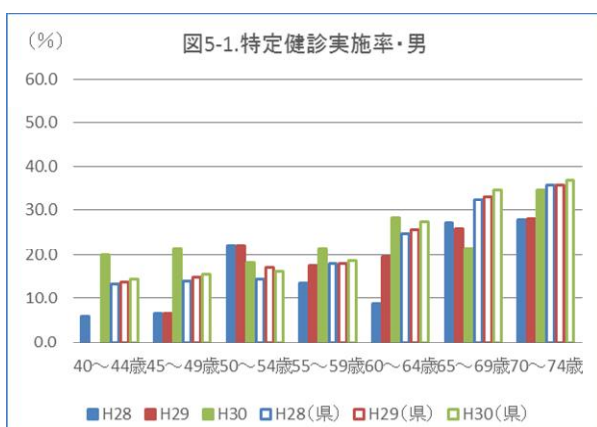


(百万円) 図4-4.疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)



※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012(平成28～30年度)

図6-1. 血圧・有所見者割合

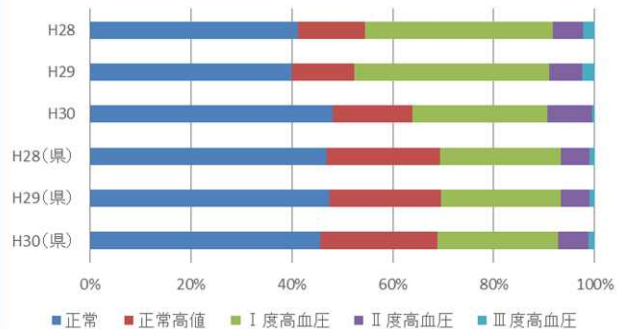


図6-2. 空腹時血糖・有所見者割合

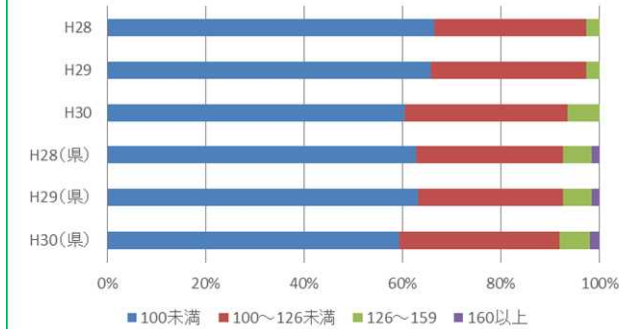


図6-3. HbA1c・有所見者割合

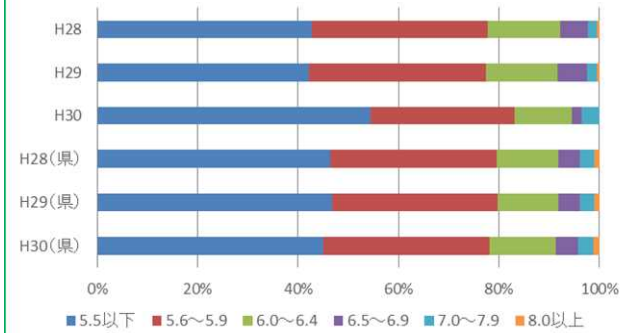


図6-4. 中性脂肪・有所見者割合

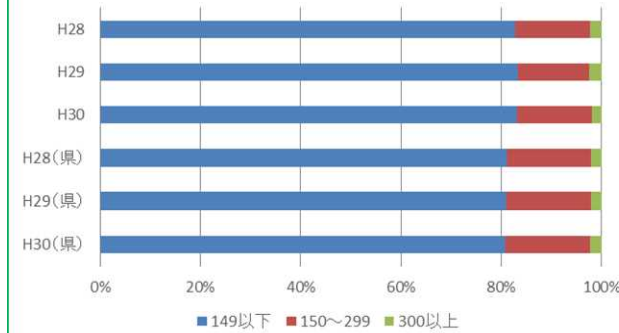


図6-5. HDL・有所見者割合

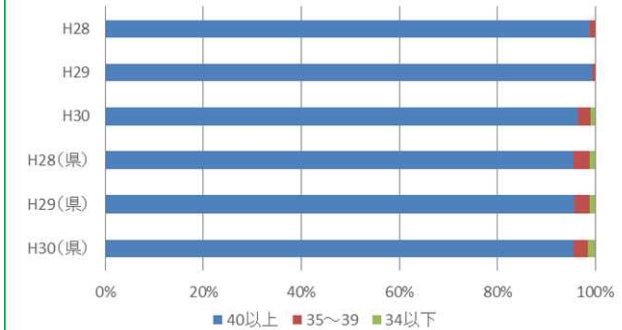
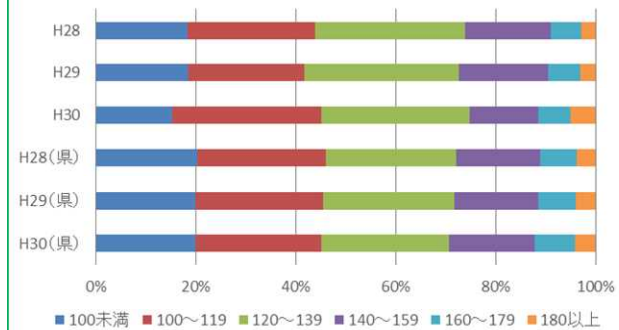


図6-6. LDL・有所見者割合



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003(平成28～30年度)

図7-1. 特定健診受診有無による医療費
(内科・入院)(1人当たり点数)

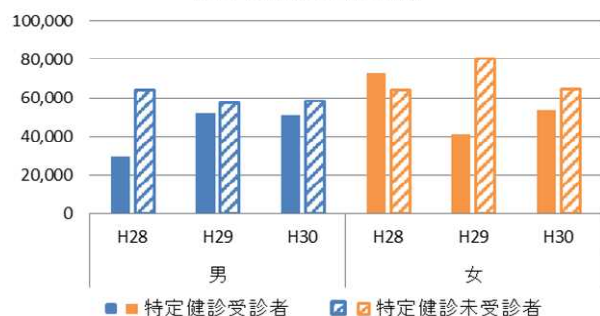
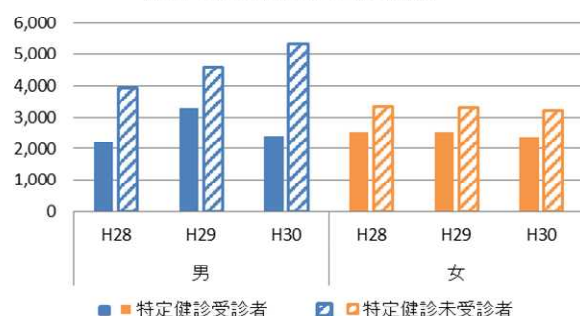


図7-2. 健診受診有無による医療費
(内科・外来+調剤)(1人当たり点数)



出典: KDBNo.46(医療費分析(健診有無別))(平成28～30年度)

図8.要介護認定率の推移

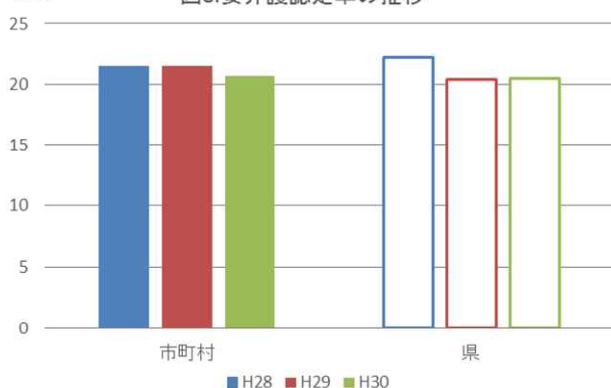


図9-1要介護度別介護給付費

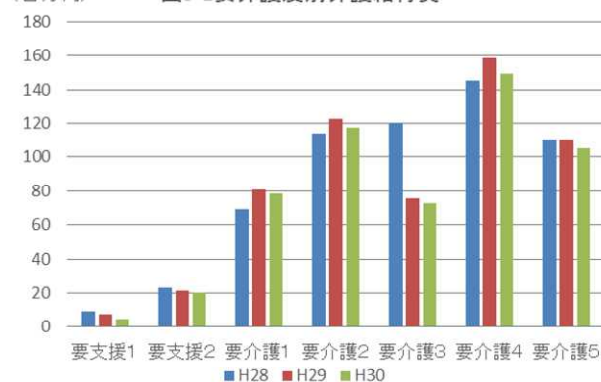


図9-2.要介護度別1件当たり介護給付費

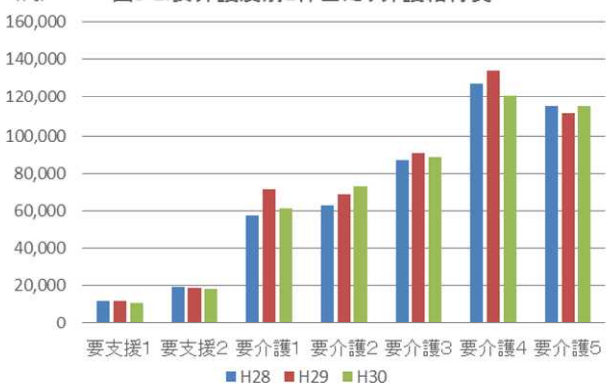
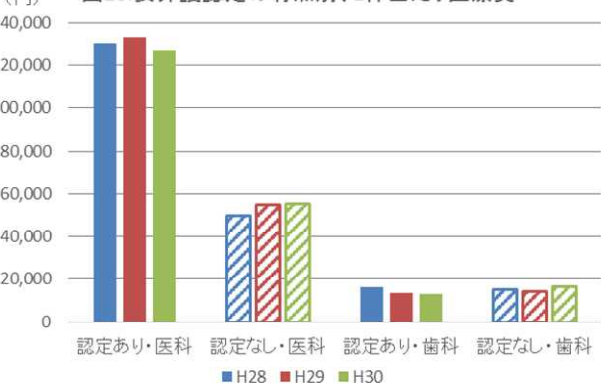


図10.要介護認定の有無別、1件当たり医療費



出典：KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28～30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院、歯科、調剤は県平均より高く、特に調剤が県平均の1.5倍で県内で最も高い。
- 入院医療費は、男性が女性の1.8倍高い。
- 疾病別入院医療費は、男女とも新生物が最も高く、入院医療費の25%以上を占めている。

【特定健診の状況】

- 特定健診実施率は、男女とも県平均より高い傾向にあり、45～49歳の男性ではH29年度の約3倍高くなっている。特定保健指導は実施していない年代が多い。
- 男性のメタボリックシンドローム該当者の割合は、45～50歳でH29年度より減少している。メタボシンドローム予備群の割合は、男性は県平均より高くH29年度に比べ増加している。
- HbA1cの有所見者割合は、H28年度・H29年度に比べ正常値の割合が増加しており、県平均より高い。

【介護の状況】

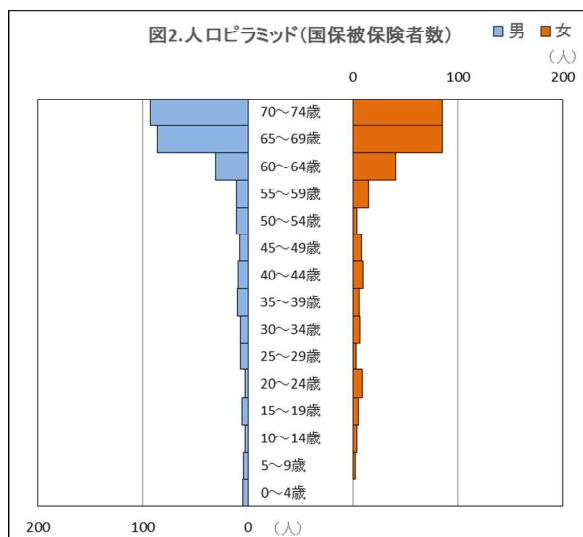
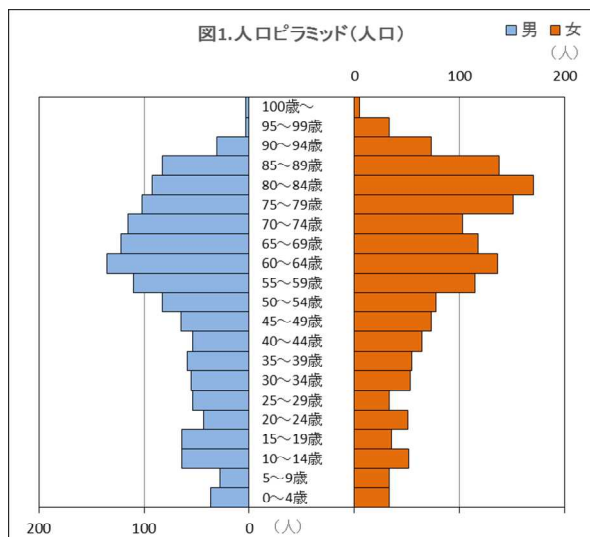
- 要介護認定率は、県平均とほぼ同率で平成29年度よりやや減少している。
- 要介護度別介護給付費は、平成29年度に比べ全ての介護度で減少している。

江府町

概要

人口総数	3,004 人
高齢化率	44.7 %
国保被保険者数	578 人
国保加入率	19.2 %
国保被保険者の平均年齢	59.7 歳

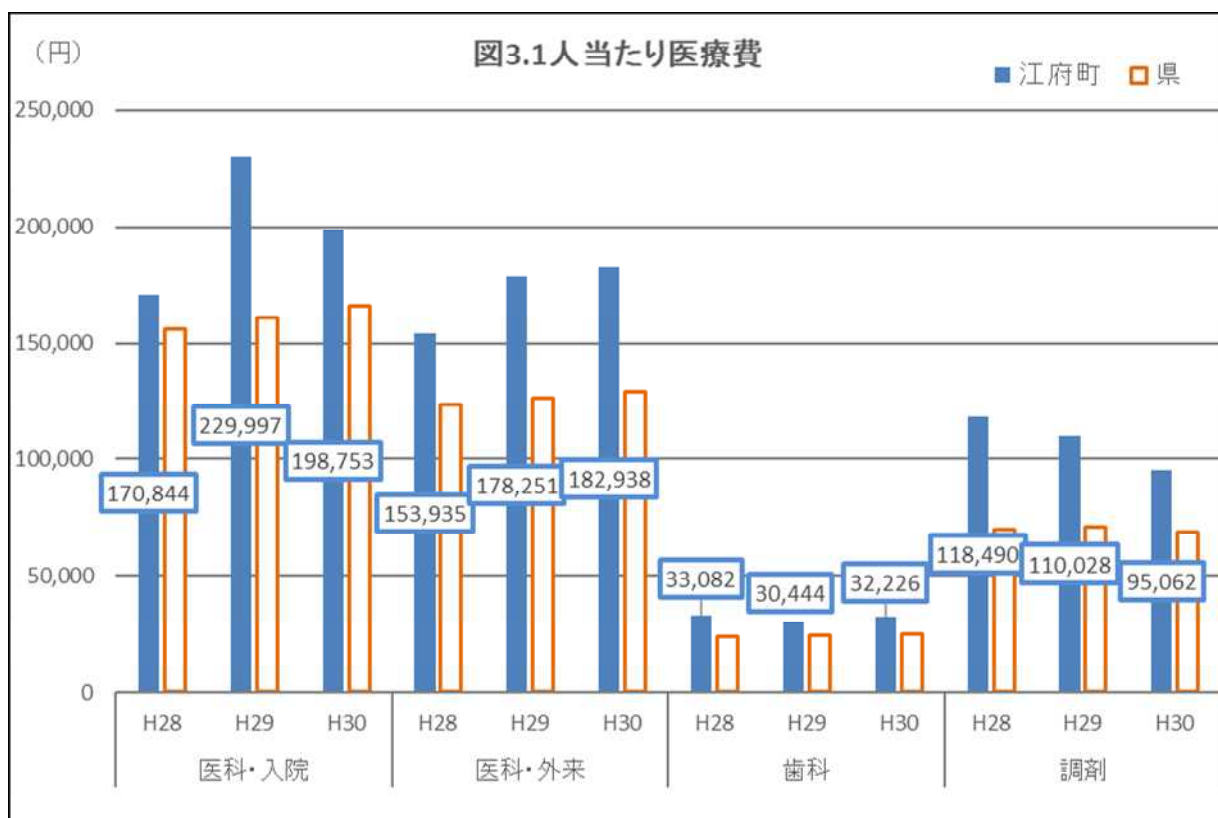
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

江府町

医療費の状況①



※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)

図4-1. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、男性)

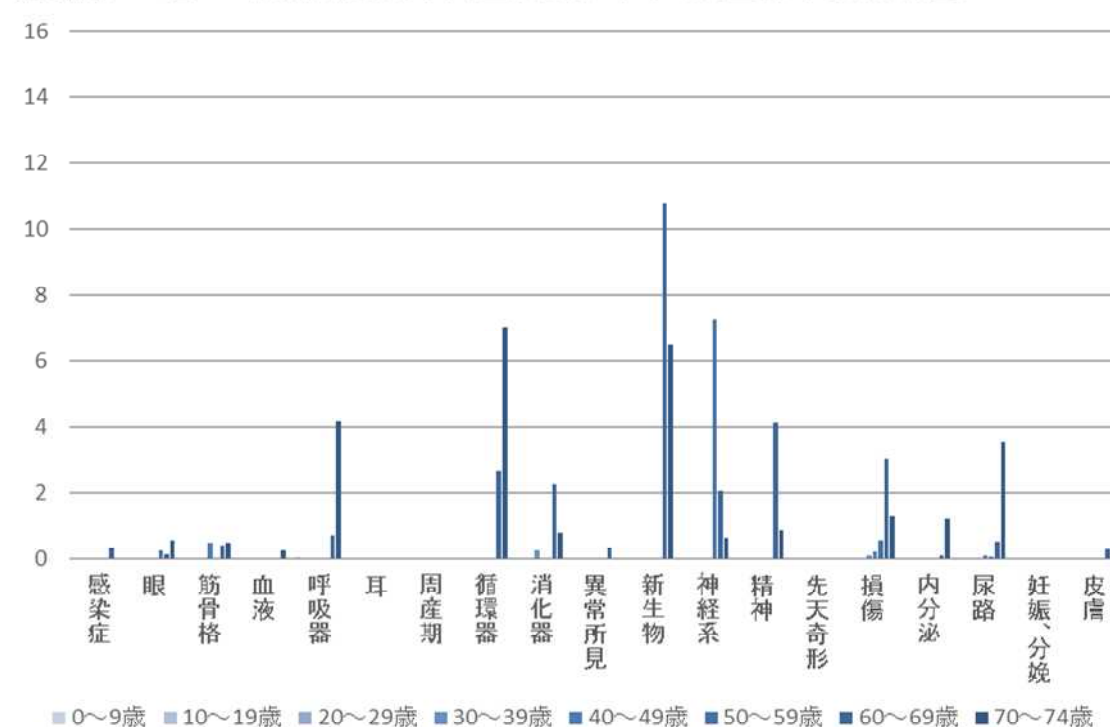
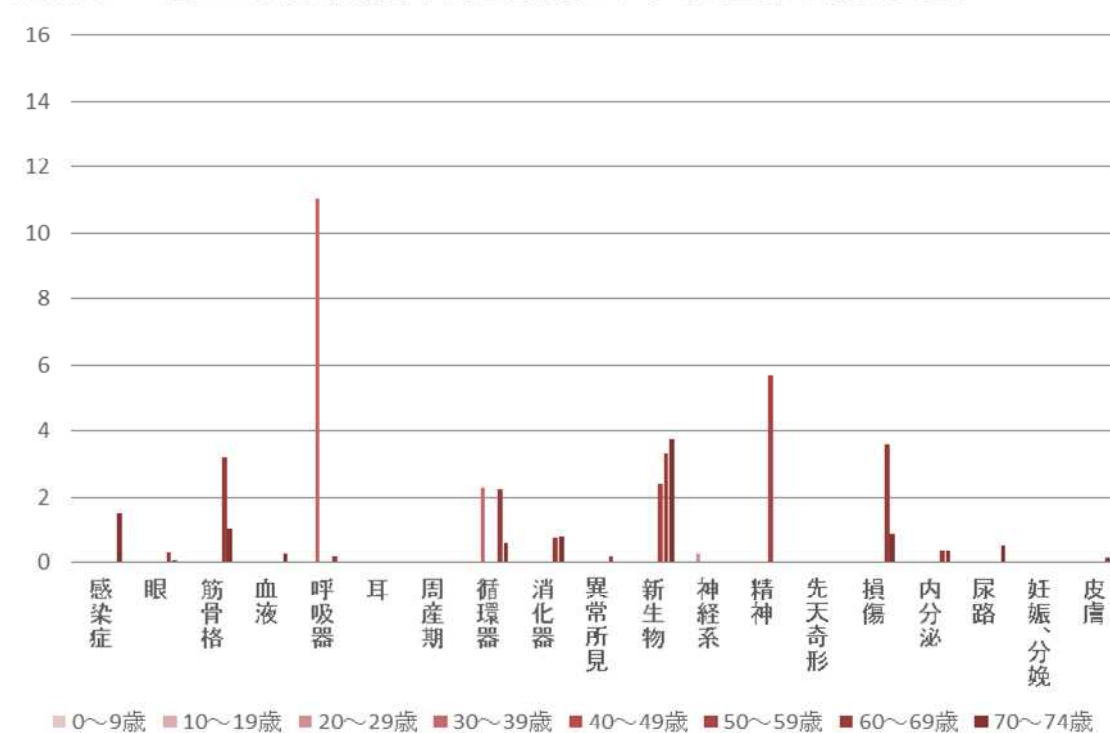


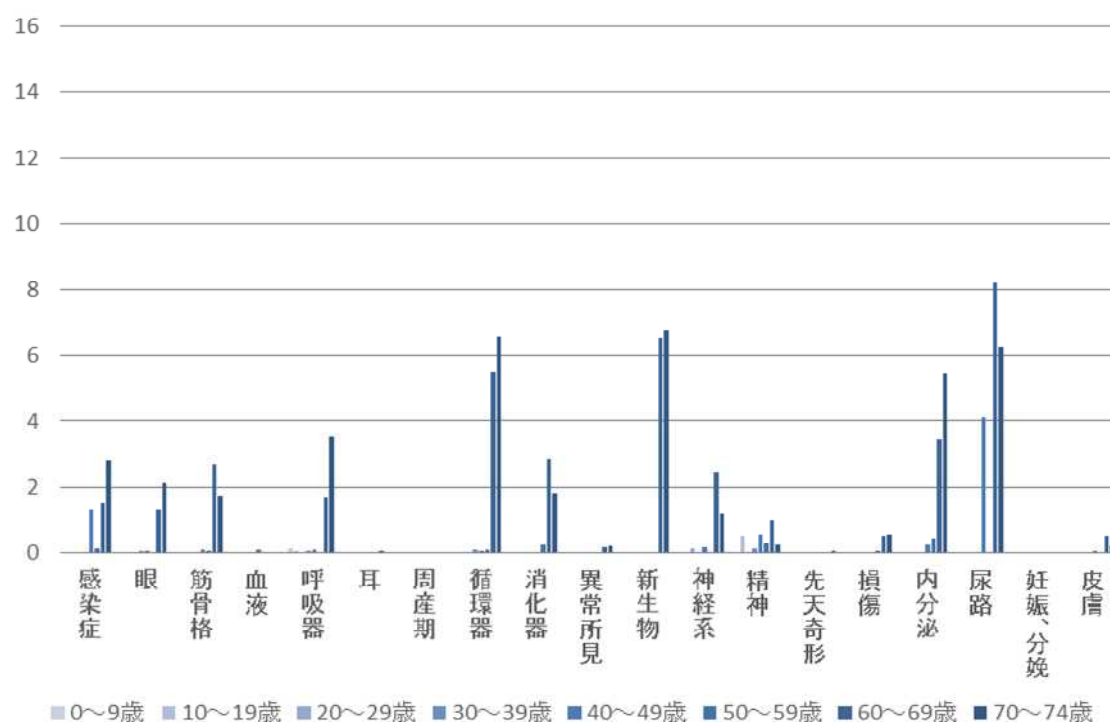
図4-2. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、女性)



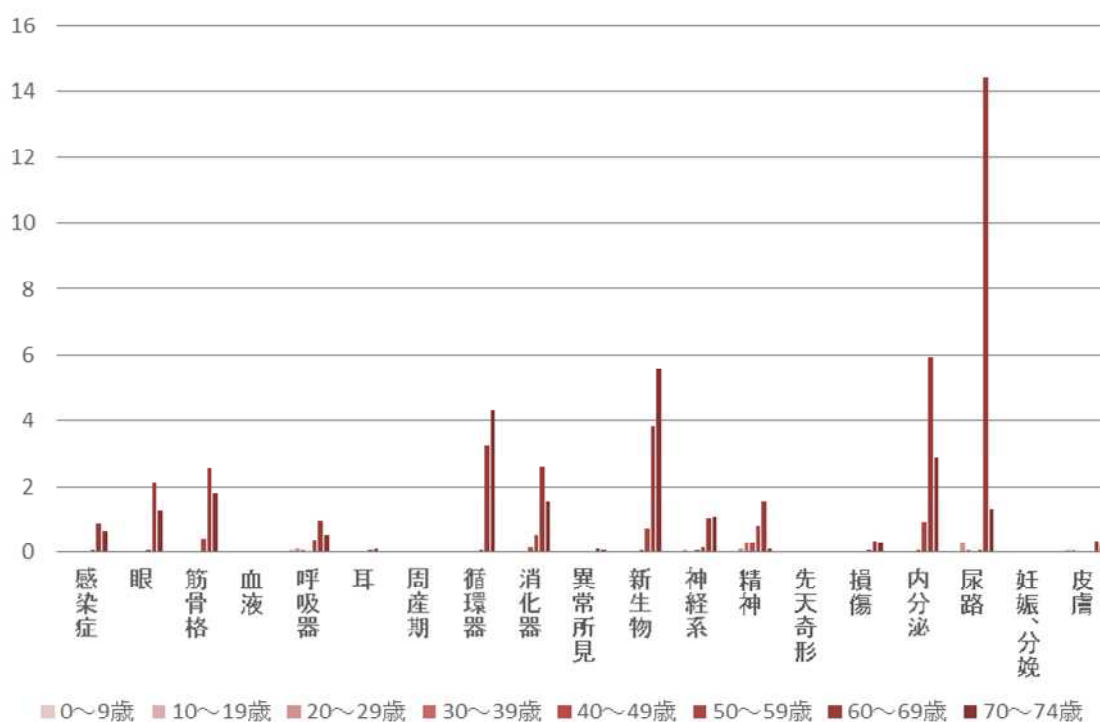
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)

(百万円) 図4-3. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

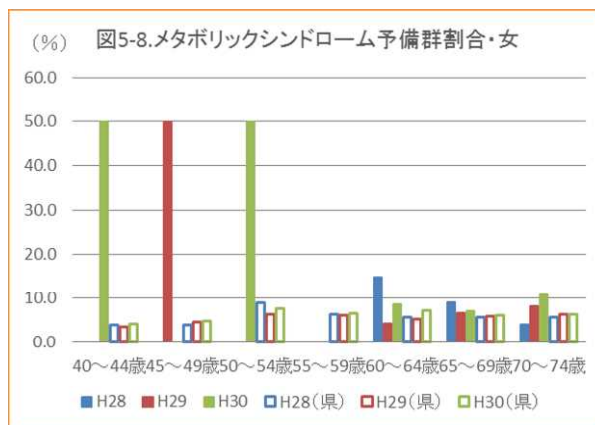
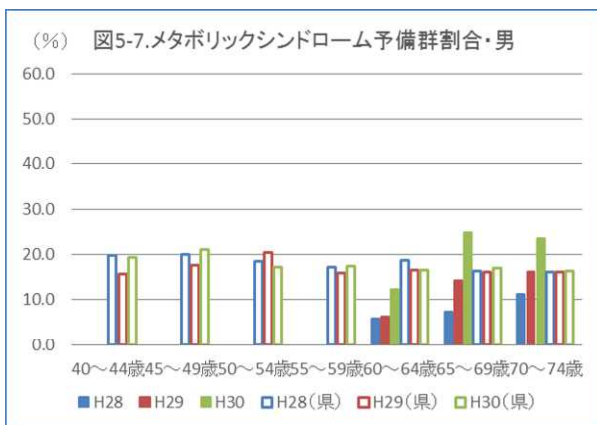
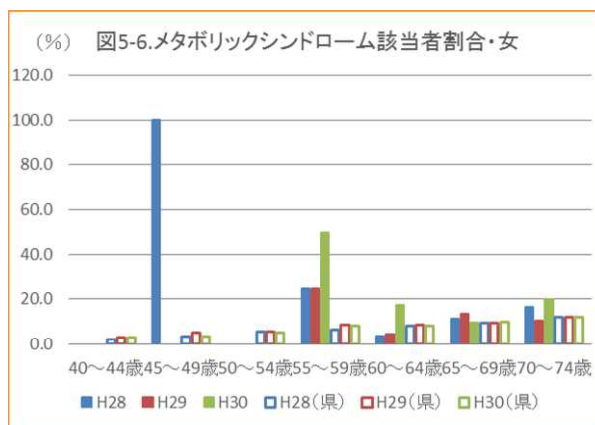
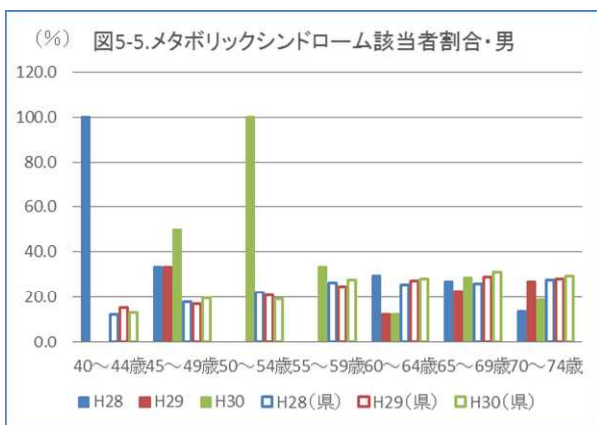
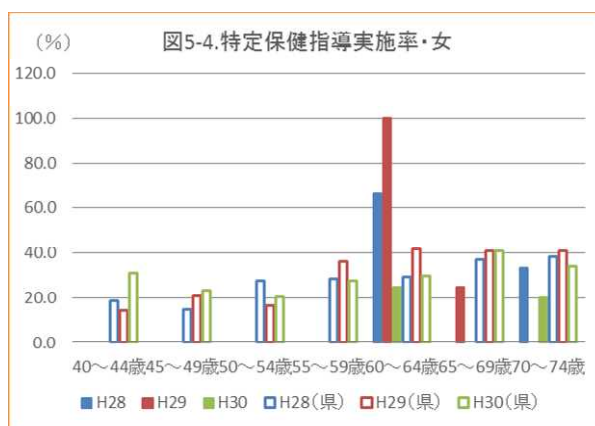
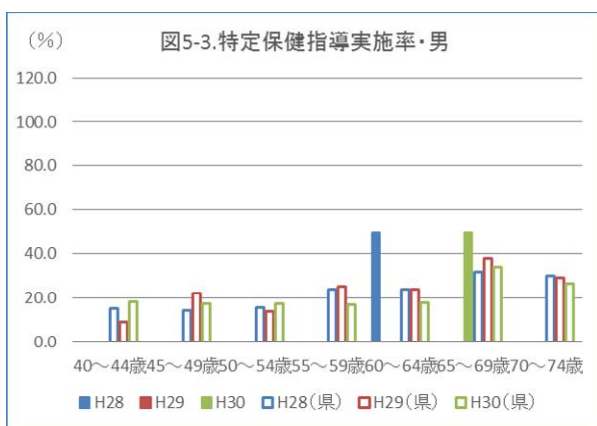
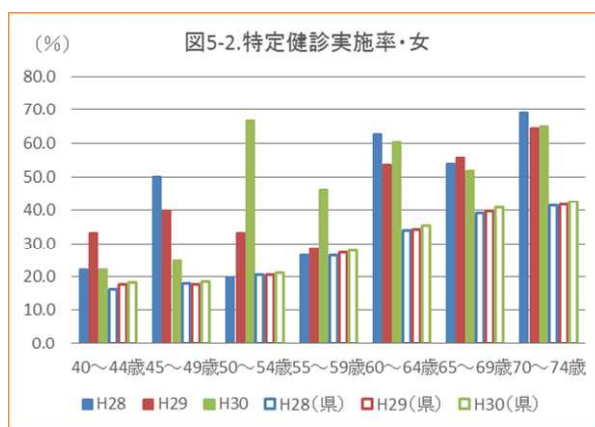
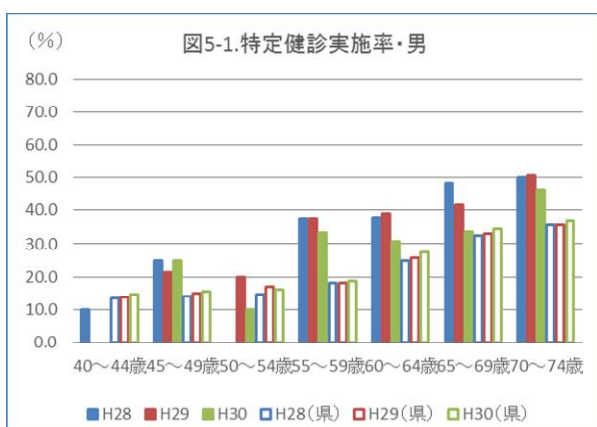


(百万円) 図4-4. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)



※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012(平成28～30年度)

図6-1. 血圧・有所見者割合

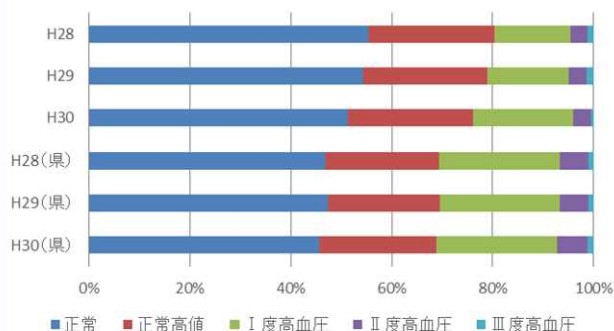


図6-2. 空腹時血糖・有所見者割合

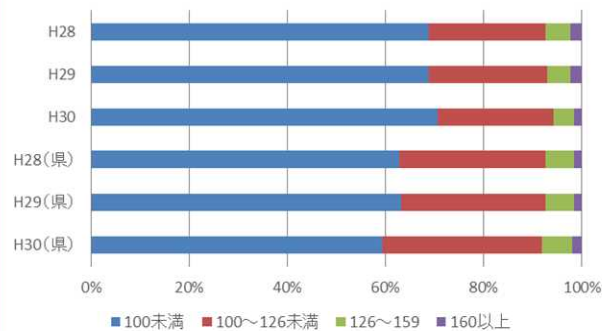


図6-3. HbA1c・有所見者割合

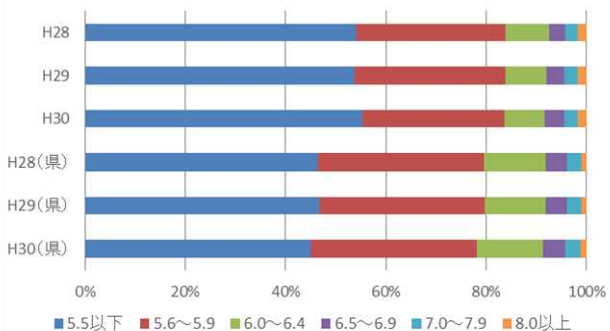


図6-4. 中性脂肪・有所見者割合

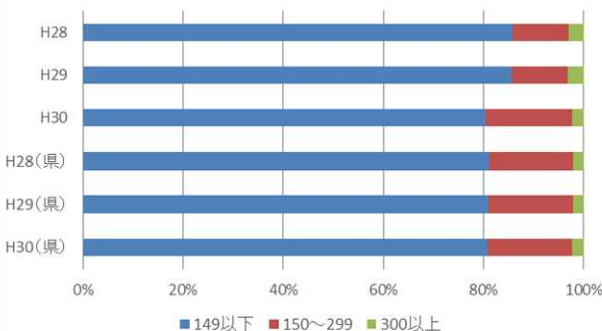


図6-5. HDL・有所見者割合

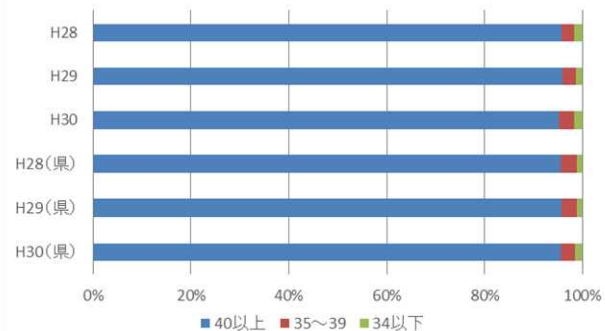
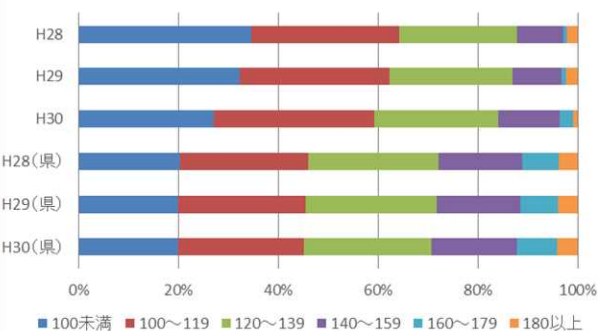
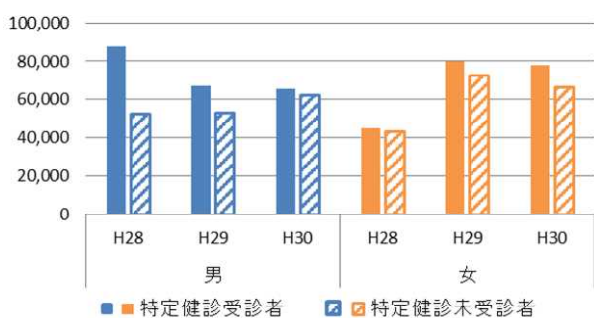
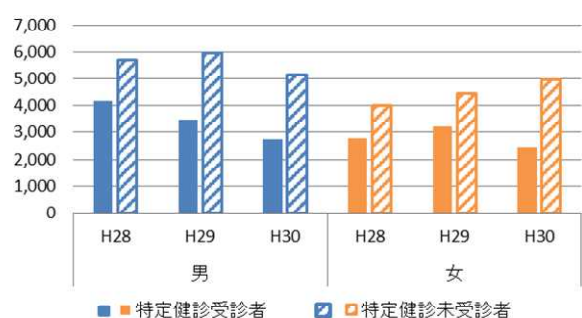


図6-6. LDL・有所見者割合



出典：特定健診データ管理システムTKAC003（平成28～30年度）

図7-1. 特定健診受診有無による医療費
(医科・入院) (1人当たり点数)図7-2. 健診受診有無による医療費
(医科・外来+調剤) (1人当たり点数)

出典：KDBNo.46(医療費分析(健診有無別))(平成28～30年度)

図8.要介護認定率の推移

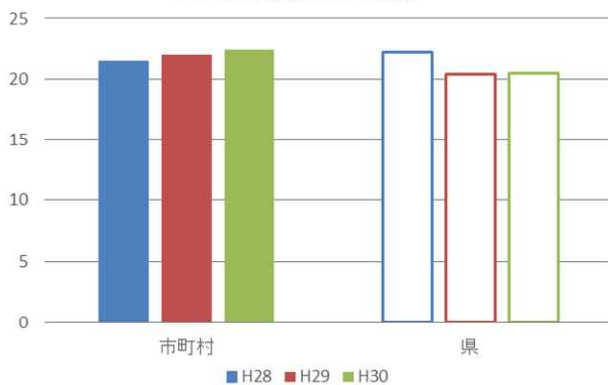


図9-1.要介護度別介護給付費

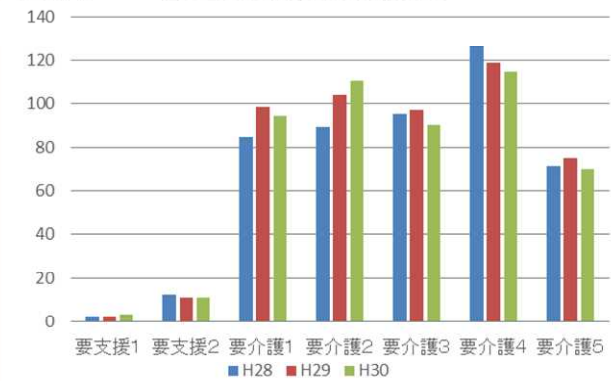


図9-2.要介護度別1件当たり介護給付費

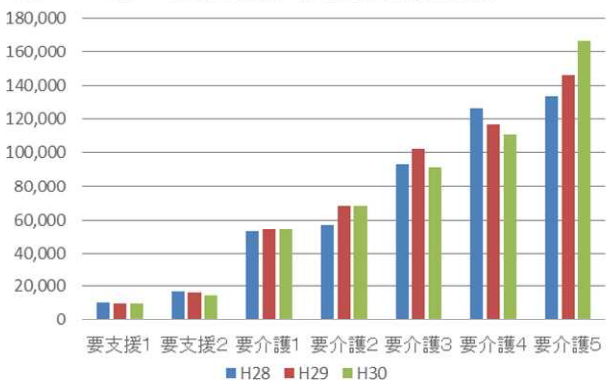
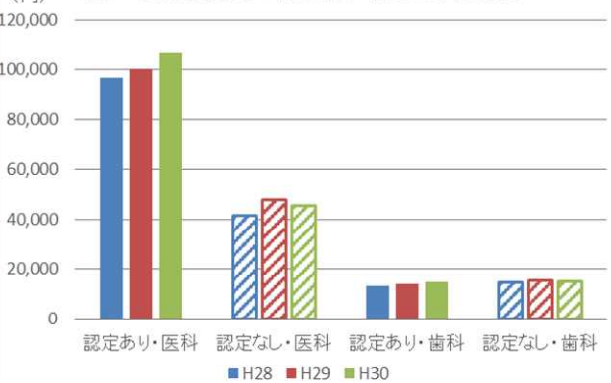


図10.要介護認定の有無別、1件当たり医療費



出典:KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28~30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院、医科・外来、歯科、調剤とも県平均より高い。特に、外来医療費と調剤が県平均より1.4倍高い。
- 調剤を含む外来医療費は、入院医療費の約1.4倍高い。
- 疾病分類別入院医療費は、男性では新生物が最も高い。女性では呼吸器が最も高く、呼吸器は30歳代の医療費が大半である。
- 疾病別外来医療費は男女とも尿路、新生物が高い。

【特定健診の状況】

- 特定健診実施率は男女とも県平均より高い。特に女性は県平均より高く、50歳代では平成29年度より急増している。
- 女性のメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は、県平均より高い。
- 男性では、40歳～50歳代のメタボリックシンドローム該当者の割合が県平均より高い。
- 空腹時血糖、HbA1cの有所見者割合は、県平均と比べ正常値の割合が高い。

【介護の状況】

- 要介護認定率は、県平均よりやや高く、増加傾向である。
- 1件あたり介護給付費は、要介護3～4が平成28～29年度より減少しているが、要介護5は増加しており、平成28年度の1.25倍になっている。

用語の説明・算出方法

項目		用語の説明
概要	人口	1. 鳥取県の概要 100の指標から見た鳥取県（平成30年版）を参照 2. 鳥取県人口、国保被保険者数 鳥取県統計課 鳥取県の推計人口（各年度10月1日時点）を参照
	国保被保険者数	KDB作成年月（令和元年12月作成、令和元年10月末時点）
	国保加入率	国保被保険者数÷人口×100
	国保加入者の平均年齢	国保被保険者の年齢の合算値÷国保被保険者数
	出生率・死亡率	人口千人対
	高齢化率	65歳以上の人口割合
	平均寿命	0歳の平均余命
	産業構成	1次産業（農林漁業等） 2次産業（鉱業、建築、製造業等） 3次産業（サービス業等）
医療費	1人当たり医療費	医療費総額÷被保険者数
	疾病分類別医療費	本データ集で主に使用しているKDBシステムの疾病分類は、医科と調剤レセプトを突合し、診療行為、特定器材、調剤費等の合計点数が高い病名を使用し、疾病分類を行っている。（最大医療資源）
特定健診	メタボリックシンドローム該当者	腹囲が男85cm以上、女90cm以上で、 ①～③のリスクが2つ以上該当する者 ①空腹時血糖が110mg/dl以上またはHbA1c6.0以上 ②脂質が中性脂肪150mg/dl以上 またはHDLコレステロール40mg/dl未満 ③血圧が収縮期130mmHg以上 または拡張期85mmHg以上
	メタボリックシンドローム予備群	上記①～③のリスクが1つ該当する者